

設計図書等に対する質問及び回答

入札番号 施14

工事名 皆生浄化センター汚泥引抜弁更新工事

番号	質問内容	頁	回答
1	<p>返送汚泥調整弁の更新の際は、なるべく施工時間を短縮できるよう計画すること。と記載がありますが、施工可能時間をご教授下さい。</p> <p>別途、制約がある場合は施工条件をご教授下さい。</p>	<p>別紙2 特記事項 1. 工程</p>	<p>エアレーションタンクの排水（発注者側で対応）が必要となりますので、施工の際に受注者と協議を行い決定します。</p> <p>交換の際は1系統で水処理を行うこととなりますので昼間の5～8時間内で施工を予定しています。</p> <p>管内滞留汚泥はピット内へ排出とします。</p>
2	<p>No. 1. 2返送汚泥調整弁の同時施工は可能でしょうか。</p> <p>同時施工が難しい場合、No. 1返送汚泥調整弁更新後、No. 2返送汚泥調整弁の着手可能までに要する時間をご教授下さい。</p>	<p>別紙2 特記事項 1. 工程</p>	<p>同時施工は不可とします。</p> <p>上記のとおり排水が必要となるので、連続施工も不可とします。</p> <p>1系統の排水には1日程度を予定しています。</p>
3	<p>No. 3初沈汚泥引抜ポンプ吐出弁の運転停止可能時間及び別途、制約がある場合は施工条件をご教授下さい。</p>		<p>昼間の5～8時間内で施工を予定しています。</p> <p>管内滞留汚泥はピット内へ排出とします。</p>
4	<p>単価適用年月をご教授下さい。</p>		<p>令和3年6月10日の単価を適用しています。</p>
5	<p>「初沈汚泥引抜ポンプ吐出弁」及び「返送汚泥調節弁」の撤去工数及び据付工数算出時の単位重量を撤去品、据付品それぞれご教授下さい。</p>	<p>工事費内訳書 第2号明細書 第3号明細書</p>	<p>初沈汚泥引抜ポンプ吐出弁 0.28t/台 返送汚泥調節弁 0.18t/台 撤去品、据付品同等としています。</p>

6	<p>電工の離線、結線は「下水道用設計標準歩掛表」端末処理で見込まれているのでしょうか。 そうでない場合は何を準用して見込まれているのでしょうか。 また、結線、離線の対象となるケーブルの規格、本数をご教授下さい。</p>	<p>工事費内訳書 第2号明細書</p>	<p>工数算出はお見込みのとおり。 ケーブルについては、下記のとおり見込んでいます。 初沈汚泥引抜ポンプ吐出弁 動力ケーブル 600V電力ケーブル2mm2-3C 制御ケーブル 制御ケーブル 2mm2-8C 返送汚泥調節弁/台 動力ケーブル 600V電力ケーブル2mm2-3C 制御ケーブル 制御ケーブル 2mm2-8C 計装ケーブル 2mm2-10C</p>
7	<p>「手動外ねじ仕切弁」及び「フランジ曲管」は見積単価という認識でよろしいでしょうか。 また、撤去、据付工数の算出は下水処理設備用鋳鉄管(直管、異形管)布設で見込まれているという認識でよろしいでしょうか。撤去、据付工数の算出時の単位重量を撤去品、据付品それぞれご教授下さい。</p>	<p>工事費内訳書 第1号明細書 第2号明細書</p>	<p>各弁の単価・工数算出はお見込みのとおり。 単位重量 フランジ曲管0.07t/台 逆止弁 0.28t/台 撤去品・据付品同等としています。</p>
8	<p>「機械経費」の記載が「仮設費(率)」より下にありますが、積算基準書のとおり、「機械経費」も「仮設費(率)」の対象額に含まれるという認識でよろしいでしょうか。</p>	<p>工事費内訳書</p>	<p>お見込みのとおり。</p>